労働安全衛生

基本的な考え方

建設業の現場は多くの人々が仕事をし、それらが有機的に結びついて一つの業務が成り立っています。三機工業グループにとって、安全衛生はすべてに優先する経営の基盤を成すものであり、「三機工業グループ安全衛生基本理念」のもと、協力会社と一体となって安全衛生活動に取り組んでいます。

三機工業グループ安全衛生基本理念
https://www.sanki.co.jp/csr/safety/

労働安全衛生への取り組み

● 管理体制

前年度の災害状況や社会・業界動向によるリスク評価・分析を行い、安全活動方針と衛生活動方針を毎年度策定しています。これに基づき全社統一の安全衛生活動方針計画書を作成することで、リスク要因の分析、改善・予防対策などPDCAサイクルの見える化を図っています。

● 2022年度の重点実施事項

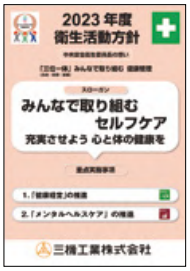
働きやすい環境づくりの一環として、2022年6月よりユニフォームをリニューアルしました。生地やポケットの位置など、すべての現場勤務従業員へアンケートを実施し、ニーズを幅広く収集しました。

2022年度の災害発生状況は、災害件数が前年度と比較し、2件増加しました。作業手順不備（リスクアセスメント不足）やヒューマンエラーによる災害が多く発生しました。災害発生の減少に向けて2022年度は、類似災害の防止などを目的とした全部門現場安全パトロールを22現場で実施したほか、安全管理者や作業員の教育機会の増加を図りました。

2023年度は、2022年度の災害発生状況や2024年の改正労働基準法への対応を見据え、作業届や作業手順書による適正なリスクアセスメントの実施や法改正に係る教育に取り組んでいきます。

新ユニフォーム

安全ポスター



衛生ポスター

2022年度の活動概要「安全活動方針」「衛生活動方針」

安全

スローガン 「アンゼンをカタチに。一人ひとりが責任者～継続しようSTOP＆Check！～」

重点実施事項

① 現地・現物・現実による危険予知（KY）活動の推進
- 災害防止キャンペーンの定期実施
- 災害傾向を見極めた重点パトロールの実施

② 三位一体活動の「見える化」
- 現場、協力会社、三機が相互に災害防止を目指す体制構築・活動促進
- 安全衛生表彰基準の改定
- 三機-労働安全衛生マネジメントシステムの整備

③ 知識・意識・認識のさらなる向上
- 安全管理者、作業員の教育機会の増加
- 現場社員向けオリジナル教育のブラッシュアップ
- オンライン安全衛生教育の体系化
- 安全衛生動画の拡充

衛生

スローガン 「ココロとカラダを健康に～みんなで創ろうカイテキ職場～」

重点実施事項

① 「健康経営」に関する取り組みの実施
- 長時間労働削減・休暇取得増進
- 生活習慣病対策ならびに運動不足解消活動の増進

② メンタルヘルスに関する取り組みの実施
- メンタルヘルスケアの体制づくり

● 安全大会と安全パトロールの実施

毎年度、全国安全週間準備期間に当たる6月に、安全意識向上に向け、各支社・支店・事業部が主催する安全大会を国内11拠点、海外2拠点の計13拠点で開催しており、国内外問わず協力会も参加しています。海外拠点のタイ※で開催し、社長をはじめ日本国内の役員も参加しました。同大会では安全管理への取り組みや成果等が優れた社員、協力会社に対し安全表彰を実施しました。また、夏季や年末年始に社長をはじめ経営幹部が26カ所の現場で合同安全パトロールを実施しています。

社長による安全パトロール

※THAI SANKI ENGINEERING & CONSTRUCTION CO., LTD.

● 安全衛生教育

当社グループや協力会社の従業員を対象に、社内講師や指定教育機関による研修を行っています。協力会社が雇用する外国人技能実習生の新規入構にあたっては、安全確保のための受け入れ基準を全現場で統一化し、当社従業員による面談で確認しています。また、全国三機安全衛生協力会との共催で行う教育も実施しています。

2022年度は、前年度に引き続き法改正に伴うフルハーネス型墜落制止用器具の特別教育を重点的に実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、実技を伴う研修などは対面形式で行いました。重篤な事故につながる可能性といったリスクや重要度に応じて実施形式を判断しています。オンライン形式で実施する場合は複数拠点をつなぎ、研修担当者の負担軽減にも努めました。

フルハーネス型墜落制止用器具使用前視聴動画

オンラインでの安全衛生教育

※当社または全国三機安全衛生協力会と共催の社内講師によるものに限定しており、指定教育機関での教育は除外しています。

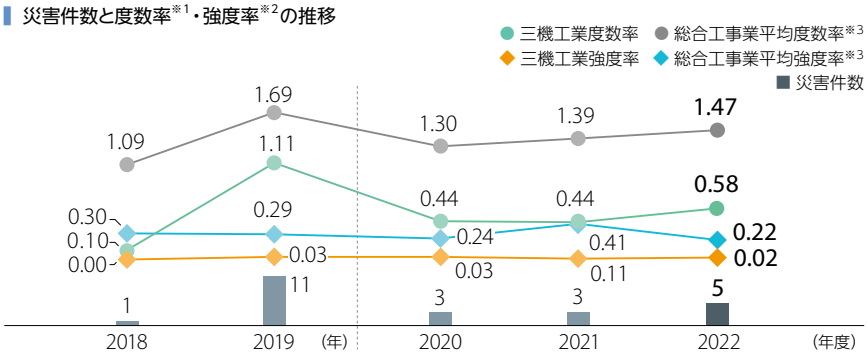
安全衛生教育受講者数(2022年度)※　(単位：名)

種類	受講者数(うち協力会社従業員)
特別教育等	2,227 (1,809)
職長安全衛生責任者教育	114 (91)
社内安全衛生研修	412 (0)
階層別(若手・中堅)研修	111 (8)
その他顧客別教育	536 (536)
合計	3,400 (2,444)

● 2022年度の災害発生状況

2022年度の災害件数は5件発生し、2021年度から2件増加となりました。災害発生状況を詳細に分析した結果、作業手順の不備による災害が多くを占め、引き続きルール遵守の徹底や、情報共有による活動レベルの底上げが課題となっています。

災害件数と度数率※1・強度率※2の推移



集計範囲：三機工業施工現場(単体および協力会社)
災害件数：休業1日以上を集計
対象期間：2020年度実績より年間集計から事業年度へ集計期間を見直しています。
※1 度数率：100万のべ労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表します。
※2 強度率：1,000のべ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表します。
※3 出典：厚生労働省「労働災害動向調査結果」より